

令和3年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

1 事業活動方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に続き、一部事業の中止及び縮小を余儀なくされたが、感染症対策を講じながら再開したスポーツ活動等を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がい者の心身の健康増進及び機能回復を図ること、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与した。

2 事業内容（概要）

（1）障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

県障がい者総合体育大会、全国障害者スポーツ大会及び本県で開催予定であった北海道・東北ブロック予選会の車いすバスケットボール競技はいずれも中止となったが、活動を再開した団体への助成等を行うことで、障がい者が身近な地域においてスポーツに取り組める環境の確保を図った。

- ① 障がい者団体スポーツ活動支援事業
 - ・県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 6件
- ② 福島県障がい者総合体育大会開催事業
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
 - （当初予定：期 日 令和3年5月16日(日)及び23日(日)
 - 会 場 会津若松市、田村市他
- ③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
 - （当初予定：派遣期間 令和3年10月21日(木)～10月26日(火)
 - 派遣場所 三重県
 - 選手団人数 101名（選手64名、役員37名）
- ④ 北海道・東北ブロック予選会開催事業
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
 - （当初予定：競技種目 車いすバスケットボール競技
 - 期 日 令和3年6月19日(土)～20日(日)
 - 会 場 県営あづま総合体育館

（2）障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの普及・振興を図るため、研修会を開催し、指導員の養成に努めた。

- ① 初級指導者養成講習会開催事業
 - 期 日：令和3年7月22日(木)、23日(金)、25日(日)
 - 会 場：郡山市障害者福祉センター
 - 受講者：13名
- ② 障がい者スポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）
 - ・令和3年度中級・上級障がい者スポーツ指導員育成講習会（オンライン開催）を受講した中級指導員2名に助成
- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業
 - ・福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催（令和4年3月書面開催）他

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

団体競技の支援については、東北大会や強化合宿が中止となったため、実績がなかったが、個別選手の練習支援を行うことにより、継続してスポーツをする環境の整備を図った。

- ① 選手指導者組織育成支援事業
3名の選手への支援を実施
- ② 団体競技強化支援事業
※新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

東京2020パラリンピック大会を契機に、選手・指導者の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、トップレベルの選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図った。

- ① 各種助成事業
 - ・国際大会等出場助成 10名
 - ・全国スポーツ競技会等出場助成 1名
- ② 運動導入教室開催事業
全78回、延べ277名参加
- ③ 地域スポーツ教室開催事業
県内各方部で開催するスポーツ教室・大会の開催費用を助成
 - ・教室 全27回、延べ311名参加
 - ・大会 全2回、延べ47名参加
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業
5種目 全32回、延べ540名参加
- ⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業
3大会の開催費用を助成
- ⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業
指定選手数：20名
- ⑦ 障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者スポーツ用具活用促進事業）【※補正】
パラスポーツ用具（ハンドバイク2台、パラスキー2台）を整備
体験教室開催及び用具の貸出を開始

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

スポーツを通じた共生社会の実現を図るため、小・中学校等での出前講座を実施したほか、協会広報紙を発行し広く情報発信を行った。

- ① 障がい者スポーツを通じた共生推進事業
出前講座等実績：33件
- ② 協会広報紙（令和3年度版）の発行

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に出席し情報収集等を図った。

- ・各種障がい者スポーツに関する会議等への出席 2件
- ・障がい者スポーツ医科学委員会との連携

(7) その他の事業

企業等が主催する事業への協力や企業からの助成金を活用した事業を実施することにより、障がい者スポーツ・福祉への理解を深めた。

チャレンジド・スポーツ支援事業

…サントリーチャレンジド・アスリート奨励金※を活用した事業等を実施

- ・障がい児・者運動導入講習会の開催
- ・福島ファイヤーボンズの試合観戦
- ・各事業における必要物品の購入等

※令和元年度採択助成金の残額（繰越し分）で実施

(8) 協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の適切かつ安定した運営を図るため、理事会、評議員会を開催したほか、専門家（税理士）による財務会計関係の助言等を受け、運営体制の強化を図った。

3 事業内容（詳細）

【公益事業】（1）障がい者スポーツの大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	決算額	182,970 円
目的	障がいのある方のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与し、障がいのある方を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成した。</p> <p>令和3年度実績</p> <p>(1) 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 助成先：6 団体 助成額：180,000 円</p> <ul style="list-style-type: none">・特定非営利法人川俣町セルフかえで（30,000 円）・おのさくらクラブ（30,000 円）・みんなでスポーツ（30,000 円）・Let`s にしごう（30,000 円）・TEAM まきばの朝（30,000 円）・アンビシャス（30,000 円） <p>(2) 県内新規障がい者スポーツ団体への助成 ※実績なし</p>		
参考	【R2年度実績】助成先：8 団体		

事業名	②福島県障がい者総合体育大会開催事業	決算額	1,658,621 円
目的	<p>障がいのある方が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>ただし、今回大会は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、開催期日及び競技会場を分散することに加え、第21回全国障害者スポーツ大会の選手選考に特化した競技会とし、規模を縮小して実施するものとする。</p> <p>なお、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定することとした。</p>		
内容	<p><u>大会概要（実績）</u></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により<u>開催中止</u>とした。</p> <p>※当初予定</p> <p>期 日：令和3年5月16日（日）及び23日（日）</p> <p>会 場：会津若松市、田村市他</p> <p>競技種目：7競技（※個人競技に限定）</p> <p><u>令和4年度（第60回）大会開催準備・調整</u></p> <p>○第1回運営委員会の開催：令和4年2月書面開催</p>		
参考	<p>※令和2年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止としている。</p>		

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	決算額	759,695 円
目的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て、本県代表選手を派遣する。また、同予選会を優勝した団体競技を全国障害者スポーツ大会に派遣する。		
内容	<p>「第21回全国障害者スポーツ大会（三重大会）」派遣について 新型コロナウイルス感染症の影響により<u>開催中止</u>となった。 ※当初派遣予定 派遣期間：令和3年10月21日（木）結団式、出発 22日（金）公式練習 23日（土）開会式 24日（日）2日目 25日（月）閉会式 26日（火）帰県（解団式） 派遣人数：101名（選手64名、役員37名）</p>		
参考			

事業名	④北海道・東北ブロック予選会 開催事業	決算額	0円
目的	全国障害者スポーツ大会予選会である北海道・東北ブロック予選会を福島県内で開催する。		
内容	<p>大会概要（実績）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により<u>開催中止</u>とした。</p> <p>※当初予定</p> <p>競技種目：車いすバスケットボール競技</p> <p>期 日：令和3年6月19日（土）～20日（日）</p> <p>会 場：福島県営あづま総合体育館</p> <p>また、全てのチームが、全国障害者スポーツ大会への出場も辞退したため（後に全国障害者スポーツ大会も中止となったが）、北海道・東北ブロックからは代表を選出しなかった。</p>		
参 考	北海道、東北各県及び政令指定都市持ち回りで開催。 令和4年度は福島県での開催予定競技はなし。		

【公益事業】(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導者養成講習会開催事業	決算額	364,020 円
目的	障がい者スポーツ指導員を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。		
内容	<p>令和3年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会の開催</p> <p><u>開催概要(実績)</u></p> <p>期 日：令和3年7月22日(木)、23日(金)、25日(日)</p> <p>会 場：郡山市障害者福祉センター</p> <p>受講者：13名</p> <p>共 催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会</p> <p>後 援：(公財)福島県体育協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会</p> <p><u>講習カリキュラム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各障がいの理解 身体障がい編 (県スポーツ課、(一社)日本ボッチャ協会) ・各障がいの理解 知的障がい編 (県障がい者スポーツ指導者協議会) ・障がいのある人との交流 (//) ・各障がいの理解 精神障がい編 (//) ・全国障害者スポーツ大会の概要 (//) ・障がい者スポーツの意義と理念 ((一社)コ・イノベーション研究所) ・コミュニケーションスキルの基礎 (//) ・各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫 (//) ・障がい者スポーツ推進の取り組み (県障がい者スポーツ指導者協議会) ・障がい者スポーツに関する諸施策 (//) ・スポーツインテグリティと指導者に求められる資質 ((公財)県障がい者スポーツ協会) ・安全管理 (県障がい者スポーツ指導者協議会) 		
参 考	教育関係者が受講しやすいよう教育委員会と「共催」としている。		

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	決算額	8,338 円
目 的	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導者を派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる指導者及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。		
内 容	<p><u>事業概要 (実績)</u></p> <p>指導者が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行った。</p> <p>【令和3年度中級・上級障がい者スポーツ指導員育成講習会】 →受講した中級指導員 2名 に助成 ・期 日：令和4年1月29日(土) ～ 30日(日) ※オンライン開催</p>		
参 考			

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	300,550 円
目 的	<p>専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、当協会内部組織である「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援する。</p>		
内 容	<p>事業概要（実績）</p> <p>各支部活動費として、助成金（計 300,000 円）を交付。</p> <p>(1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、書面開催とした（令和4年3月）。</p> <p>(2) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会役員会の開催 2か月に一度程度、役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>(3) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度程度、各部会の開催 ※（2）及び（3）については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン開催とした。</p> <p>(4) 令和3年度東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会第1回4事業部会への指導員派遣 ・令和3年12月19日（日） ・3名派遣（うち1名はトレーナー部会）</p>		
参 考	自主事業		

【公益事業】(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	決算額	0円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック代表選手選考に向けた強化練習等への支援 橋本 勝也（ウィルチェアラグビー競技）…令和3年4月～6月 ・ボッチャ日本代表選手選考会に向けた練習計画作成等の支援 遠藤 裕美（ボッチャ競技）…令和3年4月～令和4年3月 ・陸上競技選手の日常練習等への支援 庭瀬ひかり（陸上競技 T51 短距離、マラソン）…令和3年4月～令和4年3月 		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 8年：知的障害者バスケットボール普及 平成 8年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 9年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成12年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成16年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成21年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成23年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成25年：水泳選手育成支援 平成27年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成 平成28年：パラバドミントン選手支援 平成30年：ボッチャ競技選手支援 令和元～2年：ウィルチェアラグビー選手支援</p> <p>※職員旅費等については、他事業と同日に開催するなどしているため、決算額は0円となっている。</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	0円
目的	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
内容	<p><u>事業概要（実績）</u></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道・東北ブロック予選会の中止はもちろん、強化合宿や遠征等も軒並み中止となったため、<u>実績なし</u>。</p>		
参考	<p>※令和2年度も新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし。</p> <p>【令和元年度実績】5競技団体を支援</p>		

【公益事業】(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	決算額	452,820 円
目的	パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈するとともに、全国大会等に出場する選手・役員に対して経費の一部を助成し、財政的支援を行う。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>(1) 国際大会等出場助成事業 国際大会に出場した選手及びスタッフ10名に対し、激励金を贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020パラリンピック競技大会 選手：4名 スタッフ：3名（代表監督2名、競技パートナー1名） ・北京2022冬季パラリンピック競技大会 選手：3名 <p>(2) 全国スポーツ競技会等出場助成事業 各競技種目の全国大会及び東北大会に出場した選手1名に対し、経費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人競技 1名（第38回日本パラ水泳選手権大会） 		
参考	<p>自主事業 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし。 【令和元年度実績】</p> <p>(1) 国際大会等出場助成事業 : 個人競技選手及びスタッフ延べ6名へ激励金を支給</p> <p>(2) 全国スポーツ競技会等出場助成事業 : 個人競技選手延べ4名、団体競技延べ10団体へ経費の一部を助成</p>		

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	1,303,293 円
目 的	<p>障がい者のある方の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がいのある方が運動を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。</p>		
内 容	<p>事業概要（実績）</p> <p>障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行った。</p> <p>なお、(新型コロナウイルス感染症)まん延防止等重点措置の本県適用期間については、中止とした。(※当該期間は、参加者の運動する機会を確保するため、希望者に対して会場のみ開放し、自主トレーニング等を実施してもらった。)</p> <p>(1) 実施期日 令和3年4月4日～令和4年3月31日 郡山会場：毎週木曜日、毎月第1日曜日開催 福島会場：隔週金曜日開催</p> <p>(2) 実施回数 全78回実施（郡山会場：56回、福島会場：22回）</p> <p>(3) 実施場所 郡山会場：郡山市障害者福祉センター 福島会場：福島トヨタクラウンアリーナ</p> <p>(4) 参加者数 延277名参加（郡山会場：170名、福島会場：107名）</p>		
参 考			

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	決算額	604,535 円
目的	福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>障がい者スポーツ指導者協議会の各 6 支部が開催する、地域スポーツ教室及びスポーツ大会の開催費用等を支援した。</p> <p>○県北支部 スポーツ教室：6 回開催（参加者：延べ 41 名）</p> <p>○県中支部 スポーツ教室：6 回開催（参加者：延べ 22 名） スポーツ大会：1 回開催（参加者：6 名）</p> <p>○会津支部 スポーツ教室：9 回開催（参加者：延べ 106 名） スポーツ大会：1 回開催（参加者：41 名）</p> <p>○いわき支部 スポーツ教室：6 回開催（参加者：延べ 142 名）</p> <p>※県南支部、相双支部は中止。</p> <p>【合計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室 27 回開催、延べ 311 名参加 ・大会 2 回開催、延べ 47 名参加 		
参考			

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	1,876,185 円
目 的	障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組む。		
内 容	<p>事業概要（実績）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、実施種目の限定は余儀なくされたが、各競技団体と連携・協議しながら、可能な限り例年どおりの開催、指導等を行った。</p> <p>※なお、(新型コロナウイルス感染症)まん延防止等重点措置の本県適用期間については、中止とした。</p> <p>●実施種目：5 種目</p> <p>①陸上 全8回 参加者数延132名</p> <p>②フライングディスク 全6回 参加者数延193名</p> <p>③ボッチャ 全7回 参加者数延88名</p> <p>④サッカー 全4回 参加者数延79名</p> <p>⑤車いすバスケットボール 全7回 参加者数延48名</p>		
参 考	<p>【当初開催予定】</p> <p>実施種目：11 種目</p>		

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	254,650 円
目 的	<p>県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援する。</p>		
内 容	<p>事業概要（実績）</p> <p>県内で開催される各競技の大会に対して開催経費の一部を助成する。</p> <p>●助成大会 3大会</p> <p>※当初4大会の申請があったが、1大会が中止となった。</p> <p>①2021北海道・東北パラ陸上競技選手権 開催期日：令和3年11月27日（土）～28日（日）</p> <p>②第22回福島県障がい者フライングディスク大会 開催期日：令和3年7月11日（日）</p> <p>③SFIDA-CUP 開催期日：令和3年3月12日（土）</p>		
参 考			

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業	決算額	284,309 円
目 的	<p>今後の本県障がい者スポーツ発展の牽引役を担うことが期待される本県選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、競技力強化に要する経費を支援する。</p>		
内 容	<p><u>事業概要（実績）</u></p> <p>将来にわたって活躍が期待される選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援した。</p> <p>○ふくしまネクストアスリート指定者 20名</p>		
参 考			

事業名	⑦障害者スポーツ推進プロジェクト (障害者スポーツ用具活用促進事業) ※補正	決算額	3,081,751 円
目 的	貸出可能な障がい者スポーツ用具の拡充を図ることにより、これまで以上に多くの方が、多様なスポーツに気軽に取り組める環境を整備する。		
内 容	<p>事業概要 (実績)</p> <p>パラスポーツ用具 (ハンドバイク 2 台、パラスキー 2 台) を整備し、(一社)日本パラサイクリング連盟及び福島県障害者スキー協会と連携し、体験教室を開催した他、用具の貸出を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備した用具 <ul style="list-style-type: none"> ハンドバイク (20 インチ) 1 台 ハンドバイク (16 インチ) 1 台 バイスキー 1 台 チェアスキー 1 台 ・体験教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> 1 2 月 1 7 日(金) : パラサイクリング体験会 (運動導入教室福島会場) 1 2 月 1 9 日(日) : パラスキー体験教室 (グランデコスノーリゾート) 1 月 1 6 日(日) : パラサイクリング体験教室 (いわき FC パーク) 1 月 2 3 日(日) : パラスキー体験教室 (グランデコスノーリゾート) 		
参 考	※スポーツ庁委託事業		

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①障がい者スポーツを通じた共生推進事業	決算額	353,910 円
目的	<p>小中学校等への出前講座を実施するとともに、総合型スポーツクラブに対して障がい者スポーツの普及・振興のための助言を行い、将来的に総合型スポーツクラブにおいて障がい者が日常的にスポーツに取り組めるような基盤整備を行う。</p>		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>出前講座等実績：33件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月10日（木）田村市立船引南中学校 ボッチャ体験授業 ・ 6月23日（水）郡山市立守山中学校 ボッチャ体験授業 ・ 6月24日（木）二本松市立大平小学校 車いすバスケットボール体験授業 ・ 7月5日（月）郡山市大槻公民館 ボッチャ講習会 ・ 7月8日（木）郡山市立宮城小学校 シッティングバレーボール体験授業 ・ 7月13日（火）福島県立福島大学附属中学校 ボッチャ体験授業 ・ 7月14日（水）泉崎村立泉崎中学校 パラスポーツ体験授業 ・ 7月28日（水）会津地区小学校教育研究会 ボッチャ講習会 ・ 8月20日（金）郡山市赤木地区公民館 ボッチャ講習会 ・ 8月24日（火）伊達市立松陽中学校 ボッチャ体験授業 ・ 9月1日（水）福島市立杉妻小学校 ボッチャ体験授業 ・ 9月1日（水）福島市スポーツ振興公社主催 ボッチャ教室① ・ 9月7日（火）福島市立清明小学校 ボッチャ体験授業 ・ 9月8日（水）福島市スポーツ振興公社主催 ボッチャ教室② ・ 9月13日（月）福島市立吉井田小学校 シッティングバレーボール体験授業① ・ 9月15日（水）福島市立吉井田小学校 ボッチャ体験授業① ・ 9月15日（水）福島市スポーツ振興公社主催 ボッチャ教室③ ・ 9月16日（木）福島市立吉井田小学校 ボッチャ体験授業② ・ 9月17日（金）福島市立吉井田小学校 シッティングバレーボール体験授業② ・ 9月21日（火）二本松市立二本松第一中学校 ボッチャ体験授業 ・ 9月22日（水）福島市スポーツ振興公社主催 ボッチャ教室④ ・ 10月6日（水）会津若松市立第六中学校 車いすバスケットボール体験授業 ・ 10月19日（火）たまかわ元気スポーツクラブ主催 ボッチャ体験会 ・ 11月4日（木）郡山市立安積第三小学校 ボッチャ体験授業① ・ 11月11日（木）郡山市立安積第三小学校 ボッチャ体験授業② ・ 11月16日（火）郡山市立柴宮小学校 車いすバスケットボール体験授業 ・ 11月24日（水）田村市立緑小学校 車いすバスケットボール体験授業 ・ 12月3日（金）福島県立たむら支援学校 ボッチャ体験授業 ・ 12月18日（土）双葉地区総合型スポーツクラブ主催 ボッチャ体験 ・ 1月8日（土）棚倉スポーツクラブ ボッチャ体験会 ・ 1月14日（金）郡山市立緑が丘第一小学校 ボッチャ体験授業 ・ 3月10日（木）福島市立鳥川小学校 ボッチャ体験授業 ・ 3月22日（火）社会福祉法人大生福祉会主催 ボッチャ体験会 		
参考			

事業名	②協会広報紙の発行及び 障がい者スポーツに関する情報提供	決算額	253,330 円
目 的	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報紙を発行して情報提供を行う。		
内 容	<p><u>事業概要（実績）</u></p> <p>広報紙の発行 令和3年度の活動状況等について報告・周知するため作成（2,000部）、 関係機関や賛助会員等へ広く配付した。</p>		
参 考	自主事業		

【公益事業】(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	0円
目的	各種会議、講習会等に出席し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。		
内容	<p>事業概要 (実績)</p> <p>①各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度障がい者スポーツ東北ブロック連絡協議会 開催日：令和3年11月19日（金） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名 福島県スポーツ課担当職員1名※オンライン参加 ・ 令和3年度4協議会合同会議 ※オンライン開催 開催日：令和4年2月17日（木） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名 福島県スポーツ課担当職員2名 <p>②障がい者スポーツ医科学委員会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021北海道・東北パラ陸上競技選手権への派遣 …令和3年11月28日（日）、障がい者スポーツ医1名派遣 ・ 令和3年度東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会第1回4事業部会 トレーナー部会への派遣 …令和3年12月19日（日）、トレーナー1名派遣 ・ 令和3年度福島県障がい者スポーツ医科学委員会の開催 ※書面開催 …開催日：令和4年3月 		
参考	<p>自主事業</p> <p>※旅費等については、他機関からの支給があったため、決算額は0円となっている。</p>		

【公益事業】(7) その他の事業

事業名	チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	353,592 円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p>事業概要 (実績)</p> <p>東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト サントリーチャレンジド・アスリート奨励金※を活用した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児・者運動導入講習会の開催 日 時：令和3年9月5日（日） 場 所：福島トヨタクラウンアリーナ 参加者数：10名 ・福島ファイヤーボンズの試合観戦 日 時：令和3年12月29日（水） 場 所：福島トヨタクラウンアリーナ 参加者数：11名 ・各事業における必要物品の購入等 <p>※令和元年度助成金の残額（繰越し分）で実施。</p>		
参考	<p>○東北サンさんプロジェクト サントリーグループが、「漁業」「子ども」「チャレンジド・スポーツ」「文化・スポーツ」の分野を中心に取り組む復興支援活動。</p>		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	1,055,428 円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の開催経費他、租税公課、行政財産使用料等の適正な執行を行う。また、法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>●会議の開催</p> <p>※（１）理事会と（２）評議員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためいずれも議決書略（書面開催）</p> <p>（１）理事会</p> <p>ア 第１回理事会 令和３年６月１４日（月） 令和２年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回理事会 令和４年３月 ８日（火） 令和４年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（２）評議員会</p> <p>ア 第１回評議員会 令和３年６月３０日（水） 令和２年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回評議員会 令和４年３月２３日（水） 令和４年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（３）監事監査</p> <p>令和３年５月２０日（木） 令和２年度事業実績・収支決算について</p> <p>●財務・会計事務専門家（税理士）による助言・指導等</p> <p>菊地義直税理士・行政書士事務所と契約を締結し、決算資料の検査及び消費税申告額の計算を依頼した他、財務・会計事務関係の助言及び指導等を受けた。当年度の実績は以下のとおり。</p> <p>・ R ２年度決算資料検査・消費税申告額計算 令和３年５月１４日（金）</p> <p>※この他、疑義事項等について、適宜電話やメール等で相談、助言等を受けた。</p>		
参考			

事業報告書の附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の内容としての「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。